

教員氏名	松永 康史	職位	准教授
最終学歴	佐賀大学大学院教育学研究科 学校教育専攻教育学コース修士課程 修了		
学位	修士（教育学）		
役職		委員会	教務委員会
担当科目	道徳教育の指導法、社会科教育法、社会、生活科教育法、生活、保幼小連携基礎論、教育実習指導Ⅱ、教育実習指導Ⅳ、学校インターンシップ指導、基礎演習Ⅰ・Ⅱ、総合演習ⅡA・ⅡB、卒業研究演習、教職実践演習（幼・小）		
教科書・教材・教育方法の実践例	元小学校教諭の経験を踏まえ、教材研究や授業実践の分析について具体的な検討を行う。また、指導方法の工夫などを学ぶことができるようにする。		
教育研究業績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「『深い学び』の実現を目指す生活科の授業づくりーコロナ禍における実践を事例としてー」（共著）『桜花学園大学保育学部紀要 第25号』2022年3月 2. 「『どっちスピーチ』から課題追究へ」『社会科教育 58巻7号』2021年7月、明治図書、60-63頁 3. 「幼小接続と特別の教科 道徳 —小学校入学期における道徳科への視座—」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要 第23号』2021年3月 4. 「自己を見つめ直す契機としての対話的な学びー奈良少年刑務所における寮美千子の『絵本と詩の教室』を事例として—」（単著）『中部教育学会紀要 第20号』2020年6月 5. 「幼小接続期の援助や支援に関する考察ー絵本『しょうがっこうがだいすき』を事例として—」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要 第21号』2020年3月 6. 「教師の内面と子ども理解ー『鈴木先生』第1、2話を教材にした授業の構想—」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要 第20号』2019年11月 7. 「歴史授業と『なりきり日記（作文）ー歴史授業において『歴史日記』を書くことの意義を探って—」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要 第18号』2018年10月 8. 「『考え、議論する道徳』と対話的な学び（2）ー内容項目『個性の伸長』についての考察—」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要 第17号』2018年3月 9. 「『考え、議論する道徳』と対話的な学びー対話による授業づくりへの視座—」（単著）『桜花学園大学保育学部紀要 第16号』2017年10月 10. 「幼小接続を見据えた教員養成の在り方に関する研究ー幼稚園教諭及び小学校教諭免許取得を目指した教育実習指導の課題と展望—」（共著）『桜花学園大学保育学部紀要 第16号』2017年10月 11. 「どっちスピーチ」活動の可能性と課題」（共著）『愛知教育大学教職キャリアセンター紀要 第1号』2016年3月 12. 「模倣による学習に関する事例研究ー言語感覚を養う—」（共著）『愛知教育大学教育創造開発機構紀要 第5号』2015年3月 13. 「市民的な資質をはぐくむための授業づくりー「言語活動」を手がかりにして—」（共著）『愛知教育大学教育創造開発機構紀要 第4号』2014年3月 		

所属学会	日本臨床教育学会 日本社会科教育学会 中部教育学会 日本教育学会 日本教育方法学会
------	---